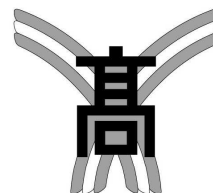


君の授業に乾杯。



【授業評価アンケートの集計結果です】

1学期に実施していただいた授業評価アンケートがまとまりました。それぞれの質問については裏面に再掲していますので、ご確認ください。

	1意欲	2知識	3思考	4目標	5振返	6教材1	7教材2	8空間	9指示	10取組	11自主
++	68.0	53.4	44.7	56.2	64.1	51.3	41.2	52.2	48.9	32.0	10.4
+	28.9	38.7	43.6	32.5	23.8	29.7	32.6	29.7	33.2	34.1	10.6
-	2.9	6.7	10.2	9.5	8.3	13.5	18.5	14.0	14.1	24.0	47.8
--	0.2	1.1	1.6	1.8	3.9	5.5	7.7	4.0	3.7	9.9	30.1

(++：そう思う +：ややそう思う -：あまりそうは思わない --：そうは思わない)

この表は、全ての教科・科目、学年の総合計です。個別の科目、学年の結果は9月3日の教科主任委員会でお配りしますので、そちらをご覧ください。教科主任の先生方は、ご自分の教科の資料をコピーして配付してください。講師の先生方にもお渡しいただけると助かります。

一目見て分かるのは、「1意欲」「5振り返り」の高さと、「10取組」「11自主」の低さです。それぞれの質問は以下の通りです。

- 1 自分は、この授業中は集中して先生の話を聞き、学習に取り組んでいる。
- 5 この授業の最後では、内容を振り返るような説明や課題、振り返りシートや小テストが活用されている。
- 10 家庭では、この授業に必要な予習、復習、課題にとりくんでいる。
- 11 この授業で知的な刺激を受けて、教科書に書かれていない内容に踏み込んで、家庭等で調べ学習をしたことがある。

家庭学習が不十分であるというのは、以前から、そして本校以外の学校でも課題となっています。学力向上のためには、授業改善だけではなく家庭での学習習慣の定着が必要なことは言うまでもありません。私たちの主戦場はもちろん授業ですが、家庭学習に導く工夫についても、常に模索し続けたいところです。

さて、項目の中で特に今年度重視したいのが「4目標」と「5振返」です。「++」と「+」を合わせればどちらも肯定的な回答がほぼ90%あります。しかし、目指したいのは「++」のさらなる増加です。「+（ややそう思う）」ももちろんよい評価なのですが、その意識にはかなりの幅があり、厳しい見方をすれば学期に1回程度の実施でも「授業でやったことはあるから、+にしておくか」という程度の意見が反映されている可能性があるからです。

1月の実施時において「4目標」と「5振返」の「++」回答の%を増加させたいというのが委員会の見解です。ご協力をよろしく願いいたします。

